



自治会だより

第17号
令和5年1月1日発行



あいさつ

東松山市自治会連合会 会長 戸森 健治



皆様 新年おめでとうございます。
日頃より、自治会連合会に対しまして、ご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、昨年は7月に入るとオミクロン株による新型コロナウイルス感染者数が急拡大し、政府は都道府県が独自に「BA.5対策強化宣言」を出す仕組みを導入しました。埼玉県でも「BA.5対策強化宣言」が発出され、地域の夏祭りや市民体育祭などが残念ながら中止となりました。
そのような中、自治会連合会は、感染対策を徹底して可能な限り事業を進めるとの方針のもと、3年ぶりに対面での定期総会を開催しました。続けて第二部として、地域の共通の話題であります「比企一族と鎌倉殿の13人」を演題に講演会も行いました。サマーセミナーでは、「気象・防災情報の見方と使い方」をテーマに講演会を開催しました。秋には森林公園での花いっぱい研修会や平野地区でのプレウオーク（まちなか再発見）も無事に実施することができました。
ところで、3年にわたるコロナ禍の生活を通じて気づいたことがあります。それは、他者との繋がりが希薄になるコロナ禍の中でこそ、何気ないコミュニケーションが重要であり、人と人とのつながりが大切であるということです。私たちは様々な変化の多い時代の中にいますが、皆様方と協働して困難にも対応できると考えています。
結びに、皆様にとりまして、この新たな年が良き年でありますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

あいさつ

東松山市長 森田 光一



東松山市自治会連合会の皆様には、日頃から市政推進に多大なご協力をいただいていることに、心から感謝申し上げます。また、それぞれの地域における特色のある取組を通じて、地域コミュニティの醸成にご尽力いただいていることに、重ねてお礼申し上げます。次第です。
昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大や自然災害の激甚化は、各自治会の皆様がこれまで積み重ねてきた市民活動や、地域協働の取組に少なからぬ影響を及ぼしています。
自治会活動はまちづくりの根幹であり、特色ある地域づくりを推し進める上で重要な役割を担うことから、市といたしましても、地域コミュニティの発展・継承に向けた支援を行ってまいります。
さて、東松山市は、東洋経済新報社の「住みよさランキング2022」において、埼玉県内で第一位となりました。引き続き、市民の皆様が住んでいることを誇りに思えるまちづくりを全力で進めてまいりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平野地区

コロナ禍に負けない平野地区の更なる発展を目指して

平野支部長 亀井 八須司



平野地区は、市の北東部に位置し、農村地域（東平、野田、東平新田）と団地・マンション地域（中山、沢口町、殿山町、月中、藤山、コスモ）で構成されています。この9つの自治会は、平野地区の更なる発展に向けてお互いに切磋琢磨しております。

当地区では、多くの神社仏閣もあり、自治会ごとに特色ある祭典も行われております。（昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止により全自治会中止。）その中で、野田自治会においては西明寺や薬師堂、赤城神社などがあり赤城神社では祭典が行われ、「ササラ獅子舞」が奉納されます。また東平自治会においては、熊野神社があり、夏祭りで大人神輿と子供神輿が町内を練り歩きます。さらに東平の「ひきずり餅」保存会による伝統芸能が七歳の祝いのときに披露されます。東平新田にも「獅子廻し」もあるように、各自治会では上記のとおり様々な祭典等を行っており地域の発展に寄与しています。

花いっぱい運動では、各自治会の花コンクールがあり、各自治会では試行錯誤しながら花壇作りを競い合っています。また、平野では「花・歩・梨」プロジェクトにより、平野市民活動センター前の滑川河川敷に曼珠沙華（彼岸花）を育て、各自治会役員による除草作業の保安全管理を行っており、地域住民の目を楽しませています。

日本スリーデーマーチでは、約130年の歴史がある東平の梨を、30キロコースのウォーカーに振る舞っており（コロナ禍により現在は梨ゼリーを配布）、毎年楽しみにして参加する方もおります。



「花・歩・梨」プロジェクトによる曼珠沙華の様子

ここ数年間、コロナ禍により夏祭り、市民体育祭、その他の行事等も縮小や中止が余儀なくされています。今年は、各種行事が実施出来ますように、行事内容を見直すなど行い、皆さんが楽しめる平野地区を目指していきたくと思います。

唐子地区

歴史と自然の豊かさを感じる唐子地区

唐子支部長 中村 昭司



数年前、唐子地区ハートピアまちづくり協議会で唐子地区の魅力を再発見してもらう目的で、唐子ウォーキングマップを作成しました。上唐子・ホテルの里コース、神戸・くらかけ清流の郷コース、下唐子・天の園コース、葛袋・化石と自然の体験館まなびのみちコース、石橋・青鳥城跡おため池コース、新郷・東松山工業団地コースの6コースです。毎年、唐子地区の月例ウォーキングのコースになっています。唐子ウォーキングマップのコースを歩くと唐子地区の歴史と自然の豊かさを感じることが出来ます。そのいくつかを紹介します。



くらかけ清流の郷

葛袋にある1500万年前のサメの化石が発掘できる化石と自然の体験館、石橋の若宮八幡神社下の若宮八幡穴古墳、青鳥の戦国時代の城跡郭の土塁もある青鳥城跡、上唐子にある江戸時代の菅沼氏の墓のある浄空院、戦争の悲惨さを語る「原爆の凶」のある丸木美術館などがあります。

都幾川の土手のみちでは、春にはカントウタンポポ、夏にはキツネノカミソリ、秋にはヒガンバナが咲きます。桜の広場では春になると数種類のサクラの花が楽しめます。

唐子中央公園には天の園記念碑があります。唐子を舞台にした児童小説「天の園」の主人公、保の母親かつらの言葉が刻まれています。「景色でおなかのくちくなるような子どもに育てます」

今後も、唐子地区の歴史と自然を大切にしながら、住みよい唐子地区、住んでいてよかったと思える唐子地区を作っていきたいと思っております。



桜の広場

高坂丘陵地区

環境及び福祉活動

高坂丘陵支部長 戸森 健治



【環境保全活動】

■「樹木のナラ枯れ」～季節外れに紅葉のように変色！



トラップの点検の様子

ナラ枯れは、森林病害虫のカシノナガキクイムシが病原菌である「ナラ菌」を増殖させることで、水を吸い上げる機能を失い、葉が赤や黄色に変色して枯死させる樹木の伝染病です。ナラ類やシイ・カシ類に被害が出ています。人体やほかの動物には影響はありません。

高坂丘陵地区の公園緑地では、2021年に79本の、2022年9月は397本の「ナラ枯れ」被害木が確認できました。被害の拡大を防ごうと、昨年4月に地域の有志の方々がボランティア組織「丘陵みどりの会」を設立し活動がスタートしました。現在、東松山市環境基本計画市民プロジェクトとして活動しています。

【地域福祉活動】

■「タやけひろば」～地域の「居場所づくり」

児童・生徒や地域の方々が集い、食事や卓球などを通じて楽しいひと時を過ごす居場所づくりです。ボランティアの方々による運営で、高坂丘陵市民活動センターで開催しています。

コロナ禍の中では集まっての活動ができませんでしたので、高齢者サロンに手作りのお弁当を届け、大変好評でした。昨年7月からはセンターに集う活動が再開できましたので、楽しい居場所づくりをこれからも続けていきます。

なお、食材等の一部は地域の方々からご提供いただいています。



スタッフの皆さん

大岡地区

コロナ禍と地域行事

大岡支部長 篠原 輝義



2019年の暮れに発症が確認されたコロナ感染症は、2022年の暮れでまる3年を迎えます。この間、ほとんどの行事が中止となりました。

令和4年3月、新年度を迎えるにあたり、猛威を振るった第6波もどうやら下火となったため、当大岡地区では、新年度はウイズコロナですべての行事を実施すべく年度計画を作成しました。その手始めが4月10日に開催した花まつりです。



花祭り

3年ぶりの開催とあって、延べ約500人の集客があり、熱演・拍手等盛況でした。森田市長は、会議のため一時退席されたものの、午後から再び見えられ、終演になるまで各演技に拍手を送られていました。

そして、一昨年に継ぐ「ヒキヒストリーウオーク」第2弾の6月実施、相次いで「納涼盆踊り大会」実施に関する実行委員会、併せて「大岡小運動会・大岡地区市民体育祭」実施の打ち合わせなど順調に行事予定消化の協議を行いました。

ところが、7月20日頃から感染者数がほぼ毎日のように最高を記録し、7月末から8月初めには、全国半数以上の病院の病床は、50%を超える厳しい状況となりました。

従って、急遽、関係者間の会議を開催し、「納涼盆踊り大会」、「大岡小との合同による市民体育祭」、この大きな二つのイベントを苦渋の思いで中止することに決定しました。

年間行事は地域に浸透しており、住民の皆様の期待度は大です。それだけに行事の中止の決断にはかなりの悩みと覚悟が必要です。コロナ感染症が終息し、安心して地域行事ができるようになることを願うばかりです。

皆様、くれぐれもコロナに感染なさらないよう留意され、日々を健やかに過ごしてください。



使われなかった盆槽

野本地区

豊かな自然と住環境を活かした地域づくりを目指して

野本支部長 大澤 利夫



野本地区は、松山台地周縁部南側に位置し、住宅が多く立ち並ぶ地域と都幾川が形成した沖積地にある農地とが混在する多様性を有する地域です。東西の中ほどにある埼玉県指定史跡の將軍塚古墳は、平成29年に東松山市教育委員会が早稲田大学の協力を得て行った非破壊調査で古墳時代前期の特徴を備えていることがわかりました。野本の地域は古くから人々の生活が営まれていたことがわかります。そのような豊かな環境を活かし、野本地区ハートピアまちづくり協議会が母体となって25地区約2,760世帯をまとめ、「快適で活力ある野本づくり」を推進しています。

平成25年度から取り組みを開始した「野本さくらの里」づくりでは、下草刈りなどの管理に区長経験者などの有志組織があたっています。令和4年3月末には桜並木の東端に、東松山むさしロータリークラブの寄贈による東屋が設置され、今後西端にも設置される予定です。地域の憩いの場としての整備と活用が期待されます。

令和4年度は、ここ2年間実施を見合わせてきた盆踊りや体育祭などの諸事業を開催するため4月から準備を進めてまいりましたが、7月中旬からの第7波のコロナ感染症の急拡大のために中止せざるを得ない状況に追い込まれました。そのような状況ではありますが、5月の野本市民活動センター駐車場には地域住民の方からご寄付いただいたこいのぼりが舞い、秋には有志の方の作成した個性豊かなかかしを集めた「かかし祭」をコロナ下にあっても継続して実施してまいりました。

コロナ感染拡大防止のため休止されていた、地域に伝承され住民交流の場として大きな役割をもつお祭りも、少しずつ再開されています。

今後も関係諸団体のご協力ご支援をいただきながら、計画した事業展開の歩みを少しずつ進め、コミュニティの充実を図り人と自然が豊かに調和する地域づくりのため皆様とともに歩んでいきたいと考えます。



金谷の餅つき踊り(4年ぶり開催の商工祭にて)

松山地区

コロナ禍における松山地区の自治会活動

松山支部長 暮松 靖弘



松山地区には30という多数の自治会があり、その30自治会が協力して実施する活動と、各自治会が独自に行う活動とがあります。

新型コロナウイルス感染症の拡大から3年近くが経過し、松山地区ではコロナ禍に対応しながら工夫して活動を推進しています。2年間実施できなかった研修視察は、日帰りではありますが3年ぶりに実施できましたし、昨年計画しながら実施できなかった「地域づくりに関する講演会」も開催できました。さらに、屋外での活動が中心の花いっぱい運動では、種まき講習会や寄せ植え講習会をはじめ様々な行事を進めています。また、自治会花壇に多くに人の目を引くような看板を3年がかりで設置しました。



看板を設置した自治会花壇

さらに、各自治会単位でも特色ある活動を行っています。ある自治会では、災害発生時に「無事ですタオル」を掲示することにより、安否確認ができる防災訓練を実施しています。また別の自治会では、多くの住民が見られるように、ショッピングセンターや公園に「お神輿」・「山車」を展示しました。このように、コロナ禍ではありますが各自治会が工夫を凝らして活動しています。

今年こそは、コロナを克服して昨年以上の活動ができ、自治会活動をより活性化してまいりたいと思います。

高坂地区

これからも自治会が元気でありますように

高坂支部長 堀口 和彦



今ほど、自治会の運営が厳しく、その存在感が陰ってしまったことは、ないのではないかと思います。この状況を作り出したのは、令和元年の水害が残した傷が大きかったこと、そして、新型コロナウイルス感染症が収まりを見せないことです。3年もの長きにわたり人の触れ合いを遠ざけ、懇親の場が制限されていることは憂慮に堪えません。

そうした中でも、区長会のほか、高坂地区で活躍する様々な団体の皆さんに参加していただいている、ハートピアまちづくり協議会では、6つの専門部会を設けて、地域の交流を活性化しようと活動しています。民踊まつりはコロナ禍の間隙を縫うように開催できました。児童の見守りには、連日多くの方が街頭に立っていただいています。健康増進を図る月例ウォーキングや健康講座にも多くの参加者に好評をいただいています。

北に都幾川、南に越辺川を配した高坂地区は、西の岩殿山から東に高坂台地を経て水田が広がる低地を形成し、自然豊かな環境が見られます。その低地と台地の境には、今も清水が湧き、高坂地区の魅力的な財産です。



高坂地区の25の自治会は、会員世帯が300を超える自治会があれば、30を下回る自治会もあります。年齢構成も一様ではありません。それでも、地域の行事には多くの皆さんが力を発揮してくれます。コロナ禍後の新しい生活様式がどのようになるのかわかりませんが、一日も早くマスクの要らない生活が戻ることを願い、手をつなぎあう自治会の復活に皆さんのご協力をお願いします。

高坂七清水のひとつ・高済寺下の清水

自治会連合会事業報告

サマーセミナー ～講演会～

令和4年8月25日（木）に、東松山市民文化センターホールにおいて、「サマーセミナー」を開催しました。講師に、気象予報士・防災士の平井信行さんをお迎えし、『気象・防災情報の見方と使い方』をテーマにご講演いただきました。



テレビの気象情報を担当されている平井さんの講演とあって、「データを示してもらい、分かりやすく説得力があった」「きわめて実践的で、参加して本当によかったと思える内容であった」などの感想がありました。また、「日頃から自分に出来る対策を行いたいと思った」などの感想もあり、防災に対する意識を高めるよい機会となりました。



花いっぱい研修 ～森林公園～

令和4年9月21日（水）・26日（月）に、国営武蔵丘陵森林公園において、市と共催で「花いっぱい研修」を開催しました。『ナチュラルスティックな花壇』をテーマに、都市緑化植物園の山下英夫さんに、園内に広がるナチュラルスティックガーデン（自然風なお花畑）やダリア園、コリウス畑などじっくりとご案内いただきました。



プレウォーク まちなか再発見！！

令和4年10月11日（火）に、日本スリーデーマーチの“プレ”ウォークとして、平野地区をウォーキングするイベント『プレウォーク まちなか再発見！！』を開催しました。

このウォーキングは、「東松山市」の新たな魅力を再発見できる機会として、各地区で順番に開催し、今年度で9回目となります。

当日は、晴天に恵まれ、梨園や田園風景が広がる道を歩き、途中、大谷瓦窯跡や熊野神社に立ち寄りしました。

参加者からは「同じ市内で、こんな自然豊かな風景が見られる場所があるなんて！」と言った話もあり、まさに新たな魅力が発見できた1日となりました。



スリーデーマーチパレードへ参加

第45回記念大会日本スリーデーマーチ最終日の11月6日（日）にパレードが行われ、各自治会が「のぼり旗」を持って参加しました。

ご参加いただいた皆様、お疲れさまでした！



花いっぱい写真展を開催しました！

令和4年度の新たな事業として、市と共催で、地域の花壇や個人の庭の写真を募集し、令和4年11月18日（金）～24日（木）に「私のまちの花いっぱい写真展」をピオニウォーク東松山2階で開催しました。

たくさんのご応募をいただきありがとうございました。



特殊詐欺にご注意ください！



還付金詐欺

「保険料の還付金がある」
「ATMで手続きができる」

振り込め詐欺

「風邪をひいた」
「携帯の番号が変わった」

預貯金詐欺

「暗証番号を教えて」
「キャッシュカードを取りかえる」

架空料金請求詐欺

「電子マネーの番号を教えて」

被害に遭わないためには・・・

『電話を
留守番電話に設定する』
『ナンバーディスプレイで
相手を確認する』
『お金の話が出たら
電話を切り、家族に相談する』
などの対策をしましょう！

編集後記

自治会だよりは、自治会・町内会の回覧等でご覧いただいているほか、市のホームページにも掲載しています。「もっとじっくり見たい！」という方は、ぜひ右側にあるQRコードを読み取ってご覧ください！



発行：東松山市自治会連合会

【問合せ】
東松山市役所 地域支援課
東松山市松葉町1丁目1番58号
電話：0493(21)1435(直通)
FAX：0493(23)2236



市HP